

Eine kleine Mozartmusik

# クライネ・モーツァルト

— モーツァルト室内管弦楽団定期サロンコンサート —

## 第75回例会

2009年  
 〈没後200年ハイドン・シリーズ〉第4回

## 〈シュトルム・ウント・ドランク (疾風怒濤) 時代〉

ハイドン40歳の熱気あふれる音楽はモーツァルト、ベートーヴェンに大きな影響を与えた

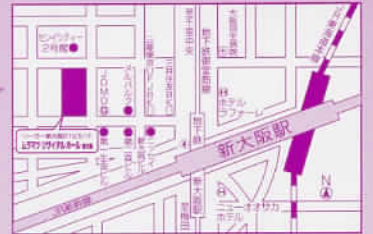


2008年3月2日(日)・午後2時  
 ムラマツリサイタルホール新大阪

(地下鉄御堂筋線「新大阪」駅4番出口から徒歩7分)

入場料= 一般¥4,000 学生¥1,500  
 (自由席/ドリンクサービスつき)

会場が  
 変わりました



山本彩子 (チェロ)

Ayako Yamamoto

神戸生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学院修了。ベルギー政府奨学金を得てR.ディールティンスのもとで学ぶ。第9回摂津音楽祭銀賞。第3回ピハホール・チェロコンクール第3位。第68回日本音楽コンクール入選。'98年ハンガリー・リスト音楽院にてジョイントリサイタル。大阪センチュリー交響楽団等と協演。'99年より室内楽演奏会を度々開催。'06年いずみホールにてリサイタル(演連コンサート)。現在、神戸市室内合奏団副首席奏者を務めながら幅広く活動。

チェロ 山本彩子

管弦楽 モーツァルト室内管弦楽団

指揮とお話 門 良一

### プログラム

ハイドン

交響曲 第44番 ホ短調 《哀悼》

チェロ協奏曲 第1番 ハ長調

交響曲 第45番 嬰へ短調 《告別》

主催 ■ モーツァルト室内管弦楽団

### 『ハイドンを忘れてもらっては困ります』

モーツァルトはその生誕250年を世界中が祝った。ベートーヴェンは不動の人気を誇っている。〔ウィーン古典派〕と呼ばれる3巨匠のうちで筆頭であるべきハイドンは、この二人の後塵を拝しているのが現状である。だが、もしハイドンがいなければ、モーツァルトやベートーヴェンの交響曲も弦楽四重奏曲もこの世に存在しなかっただろう。クラシック音楽の基本スタイルはハイドンによって創造され確立されたのである。また、ハイドンの音楽の持つ健康さとユーモア、そして品格ある秩序感、今の世に最も必要とされるものであろう。モーツァルト室内管弦楽団はハイドン復興をめざし、2009年の没後200年に向けて〈ハイドン・シリーズ〉を行っている。

『ハイドンを忘れてもらっては困ります』— これは、フランス映画「ハンカチのご用意を」の中で、主人公の少年がモーツァルトばかり聴かせる音楽教師に対して抗議することばである (川本三郎著「東京つれづれ草」より引用)。

マネジメント ● 大阪アーティスト協会 (06) 6135-0503

チケット前売 ● 大阪アーティスト協会 050-5510-9645、ムラマツリサイタルホール 06-6398-6988